



- 2019年12月21日 「TIP THE TSUTENKAKU」 (眺め出し展望台)がオープン
- 2018年2月23日 BELCA賞ロングライフ部門受賞
- 2017年6月19日 第51回日本サインデザイン特別賞受賞
- 2017年2月10日 通天閣LED・ネオンサイン点灯式典を実施。年間6色から12色のライトアップにリニューアル
- 2016年10月1日 新たな避雷針が設置され、高さが108mに
- 2015年12月25日 屋外型の新展望台「天望パラダイス」がオープン
- 2015年5月1日 世界初の展望塔免震構造化工事を完了
- 2015年7月3日 72年ぶりに初代通天閣の天井画を復刻
- 2014年8月26日 「生きた建築ミュージアム・大阪セレクション」に選ばれる
- 2013年12月20日 通天閣の地下に「通天閣わくわくランド」がオープン
- 2012年11月1日 通天閣3階に「ぐりこ・ヤ スマイルストア」がオープン
- 2012年7月3日 通天閣が初代通天閣から数えて100周年を迎える
- 2012年6月29日 キン肉の日に、新世界・通天閣100周年事業の一環として「キン肉マンプロジェクトアーカイブコーナー」がオープン
- 2012年5月23日 3代目ビリケンさんが誕生
- 2007年5月15日 国の登録有形文化財に指定
- 2003年4月11日 大阪市の都市景観資源 (旧指定景観形成物)に指定
- 1996年1月20日 映画「ビリケン」の撮影
- 1979年4月28日 塔頂部の天気予報サイン開始
- 1969年10月28日 「王将碑」除幕式
- 1957年7月22日 株式会社日立製作所サイン広告掲出開始
- 1956年10月28日 2代目通天閣の誕生
- 1954年9月4日 通天閣観光株式会社 創立事務所設置

地元の方々の熱い思いとともに時代と世代を超えてこれからも。

1956年(昭和31年)、通天閣を再建させたいという思いが地元住民たちの中で芽生え、苦難を乗り越えて通天閣再建の悲願が達成されました。今では、有形文化財に登録されるとともに大阪の温かみや賑わいの象徴として、大阪の夜空に光を灯し続けております。今日の「通天閣」があるのは、大阪・新世界・通天閣を愛し続けていただける皆様の熱い思いがあるからだという事はまぎれもない事実です。その通天閣の“原点”を忘れることなく、今を、そしてこれからは歩んでまいります。



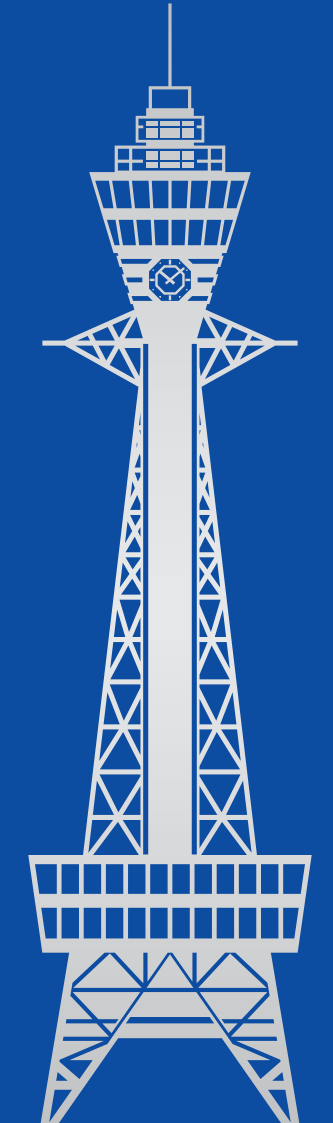
通天閣観光株式会社 〒556-0002 大阪市浪速区恵美須東1丁目18番6号
TEL 06-6641-9555 FAX 06-6641-9559
www.tsutenkaku.co.jp



TSUTENKAKU TOWER

通天閣観光株式会社 会社案内

大阪人の心で支えられ、そしてまた人々の心へ…。



誇り

今も変わらず
凝縮されている大阪の心。
新世界・そして浪速文化の
誇り「通天閣」。

大阪を代表する街「キタ」「ミナミ」、それに肩を並べるのがこの「ど・ミナミ」である新世界。もちろんどのエリアも共通、繁華街として栄え、時代とともにその町を形成する店や客層も変化しながら歩んでいます。新世界もまた同じく、訪れる観光客の層もカップルや女性、学生、ビジネスマンなどで賑わうようになりました。ただ、新世界は今も、そしてこれからも決して変わることはない「大阪の昔の風情」「ノスタルジックな懐かしさ」「浪速独特の明るさ」が残りつづけています。まさに、大阪の心を感じつづけることのできる日本の誇りとなるエリア「新世界」。そして、「通天閣」はそこにそびえ立つ展望のためだけの塔ではなく、大阪の心を感じることのできる大阪人のシンボルであり「誇り」なのです。

出会いと思い出のスポットとして、
人々の心にこれからも刻まれる
大切な時と場を提供してまいります。

通天閣は昔も今も、地元の人やそこに訪れる人々にとって特別な時間を提供しています。それは、思い出の1ページであったり、また人生で最も大切な時であったり、いつの日も、そしてこれからも、たさんの人の心に通天閣をとおり思い出を刻んでいてもらいたいと考えております。1回だけではなく何度でも足を運んで、そしていつ来ても一味違う空間を味わえるよう、心のこもったおもてなしと笑顔あふれる演出をこころがけ、皆様の思い出のシーンづくりのお手伝いをしております。今後ともご支援、ご鞭撻のほど、何卒よろしく願いいたします。

通天閣観光株式会社 代表取締役社長 高井隆光



5RF:天望パラダイス 5RF:TIP THE TSUTENKAKU 5F:ビリケン神殿 4F:光の展望台 3RF:通天閣庭苑 3F:ジオラマ展示 3F:ぐりこや 3F:カフェトルナパーク 2F:チャンチャン町 2F:キョロちゃんのおかし屋さん 2F:ぐりこや 1F:大天井画 1F:通天閣展望台入口 B1F:わくわくランド

堂々

大阪人の心の支柱としての存在感。
ただの“塔”ではない魅力がふんだんに。

1956年以来、今も変わらず姿でどっしりとたたずむ大阪のシンボル「通天閣」。その存在感は大阪文化の変わりぬ懐かしさを醸し出し、人々の心を常に癒してくれています。「天に通じる高い建物」として命名された通天閣は、大阪の街を望む展望の塔でもあります。けっしてそれだけではありません。観るだけでも歴史的景観を持つ観光名所となり、また登ればひと昔前の風情を感じ、なにわのこてこて文化にも触れることができる…。そんな大阪人の心が凝縮されています。幸福の神様であるビリケン像、サインでわかる明日の天気、毎月楽しめるライトアップ。そのひとつひとつがもうあたりまえのように大阪の街に溶け込んでいるのです。

通天閣のスゴイところ

世界初の…。

【通天閣の円形エレベーターは世界初】

1956年に2代目通天閣に導入されたのが、世界で初めての円形エレベーター。当時は通天閣にしかない貴重なものでした。



72年ぶりに…。

【初代通天閣に描かれていた大天井画復刻】

初代通天閣大天井に広告を出されていた「株式会社クラフコスメック」から、初代通天閣のエントランスを彷彿させる復刻された大天井画を寄贈していただきました!



知る人ぞ知る…。

【通天閣と東京タワーは兄弟】

2代目通天閣の設計者・内藤多仲は、あの「東京タワー」も設計しました。言われてみれば、どちらも最小限の鉄骨で造られたエコタワー、しゅっとした感じが何となく似ています。

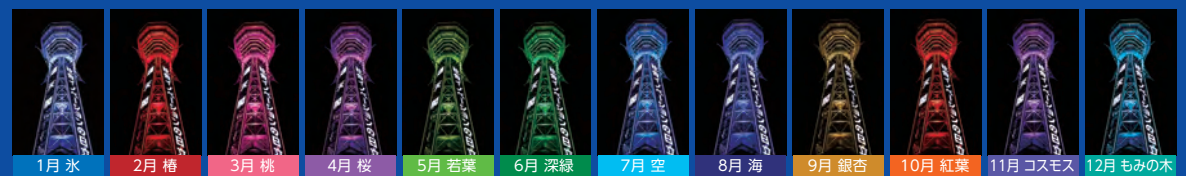
【光でわかる明日の天気】

夜空に輝く、通天閣ってべんまのまるいサイン。気象台と通天閣を結んで、簡単な色の組み合わせで明日の天気をお知らせしています。



【毎月楽しめるライトアップ】

2017年の全面リニューアルでなんと6色から12色になりました。月ごとに色がかわります。



【360°の大パノラマは絶景】

大阪をぐるっと一望できる展望台は「大都会の空中オアシス」と大評判です。



通天閣の守り神・幸福の神様
「ビリケン像」
通天閣の展望台で、真っ先に迎えてくれるのが、幸運の神様「ビリケン像」。合格祈願・縁結びなどあらゆる願いを聞いてくれる、なんでもござれの福の神なんです。



2代目ビリケン像

生みの親はアメリカの女流アーティスト

ビリケン (BILLIKEN) は、1908年 (明治41年) アメリカの女流美術家E・I・ホースマンという女性アーティストが、夢で見たユニークな神様をモデルに制作したものと伝えられています。その当時世界的に大流行した幸運のマスコットが、遠く新世界にまで伝わり、今も庶民的な神様として親しまれています。2012年からは2代目のビリケン像は展望台での鎮座の役目を終え、3代目ビリケン像へと引き継がれました。



3代目ビリケン像

やってきたビリケン

1912年 (明治45年) オープンした「新世界」の遊園地「ルナパーク (月の園)」でビリケン像を安置。新世界名物としてその名をとどろかせ、ビリケンブームがおこりました。しかし、ルナパークの開鎖と共に行方不明になっていたのです。その後、オイルショックが去り、通天閣の灯が復活して新世界に活気がよみがえった1979年 (昭和54年)、浪速文化の拠点をめざした「通天閣ふれあい広場」が完成し、1980年 (昭和55年3月30日) に新世界に馴染みの深い「2代目ビリケン像」が復活したのです。



ルナパーク

Summary of company 会社概要

- 社名: 通天閣観光株式会社
- 所在地: 大阪市浪速区恵美須東1-18-6
- 設立: 1955年 (昭和30年) 7月6日
- 資本金: 1億500万円
- 開業: 1956年 (昭和31年) 10月28日
- 代表者: 代表取締役社長 高井隆光

現在の2代目通天閣が再建されたのは昭和31年。初代が姿を消してから13年後のことでした。通天閣が消えて寂しくなった新世界を復興しようとの地元の声をきっかけに、昭和29年に新世界町連合会役員らにより創立事務所を設置しました。そして翌年の昭和30年、地元の人々からの出資によって、通天閣観光株式会社が始まりました。まさに、通天閣を愛する人達が作った、通天閣のための会社です。

通天閣までの交通アクセス

- 最寄駅からの所要時間
- JR環状線新今宮駅より… 徒歩約7分
 - Osaka Metro御堂筋線美須町駅より… 徒歩約4分
 - Osaka Metro御堂筋線動物園前駅より… 徒歩約7分
 - 阪堺電車阪堺線美須町駅より… 徒歩約3分
 - 南海電鉄南海本線新今宮駅より… 徒歩約10分
- Osaka Metro御堂筋線
主要駅からの所要時間
- 新大阪駅より… 約30分
 - 梅田駅より… 約25分
 - なんば駅より… 約15分
 - 天王寺駅より… 約12分

- お車で越える場合は
- 上り線: 阪神1号環状線なんば出口より車約7分
 - 下り線: 阪神1号環状線夕陽丘出口より車約5分

